

令和元年度第9回定例
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

令和元年度第9回定例松本市教育委員会会議録

令和元年度第9回定例松本市教育委員会が令和元年12月26日午後3時00分教育委員室に招集された。

令和元年12月26日（木）

議 事 日 程

令和元年12月26日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

第1号 学校給食費について

第2号 令和元年度松本市公民館活動推進功労者について

[報告]

第1号 令和元年松本市議会12月定例会の結果について

第2号 令和元年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について

第3号 宇宙関連事業講演会の開催結果について

第4号 松本市教育訪問団の台湾高雄市訪問事業について

第5号 食物アレルギー講演会の開催結果について

第6号 まつもと子ども未来委員会による市長提言及び活動内容について

[周知事項]

1 令和2年松本市成人式の開催について

2 未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会令和元年度
地域づくり市民活動研究集会～の開催について

3 発掘された松本2019ー松本市遺跡発掘報告会ーの開催について

4 ラウル・デュフィ展の開催について

5 松本市美術館館長アートレクチャーの開催について

[その他]

〔出席委員〕

教 育 長
教育長職務代理者
教 育 委 員
〃
〃

赤 羽 郁 夫
市 川 莊 一
福 島 智 子
山 田 幸 江
橋 本 要 人

〔出席職員〕

こ ど も 部 長
教 育 部 長
教 育 政 策 課 長
教育文化センター課長補佐
学 校 教 育 課 長
学 校 指 導 課 長
学 校 給 食 課 長
生涯学習課長 兼

村 山 修
山 内 亮
小 林 伸 一
倉 田 和 昭（所長代理）
逸 見 和 行
高 野 毅
清 澤 秀 幸

中央公民館長
生涯学習課

栗 田 正 和

施設整備担当課長
中 央 図 書 館 長
文 化 財 課 長
文 化 財 課 課 長

丸 山 丈 晴
瀧 澤 裕 子
大 竹 永 明

（西部4地区担当）
松本城管理事務所長
松本城管理事務所

臼 井 邦 彦
手 島 学

城郭整備担当課長
美 術 館 副 館 長
博 物 館 長
基幹博物館建設担当課長

原 文 彦
小 口 一 夫
木 下 守
中 原 和 彦

〔事務局〕

教育政策課

教育政策担当係長

金 井 稔

教育政策担当係長

三 村 恵 美

《開会宣言》 午後３時００分

赤羽教育長は令和元年度第９回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 今年もあとわずかとなつてまいりましたが、この一年皆さんにとってはどのような年だったでしょうか。教育委員会にとりましては、旧開智学校校舎が国宝となりまして、１０月には記念式典が開かれるなど、特に大きな節目の年であったと思っております。松本城とともに２つの国宝、また市民の皆さんの宝であります多くの文化財の保存活用を今後一層進めていくために、来年も引き続きよろしくお願いいたします。

また、子どもたちに目を向けますと、全国的には児童虐待ですとかゲーム依存、それからＳＮＳによる誘い出し等、子どもを取り巻く環境は悪化の一途をたどっていると言わざるを得ない状況にあるわけです。また、一昨日も新聞報道によって、全国的に子どもたちの体力低下が顕著だということが報告されていました。そこには、子どもたちのスマホ等による外遊びの減少ということの影響も見逃せないということもあるわけですが、こういう時代だからこそ身近な多くの人と手を取り合って、未来の担い手である子どもたちを育てていくための営みがより一層必要になると思っております。保護者も含めて、特にメディアとの付き合い方を発信していく必要を感じています。今年度、長野県で「子どもとメディア信州」という組織が発足をし、指導者の養成ですとか、スマホ等のメディアとの付き合い方等についての発信ですとか、そのような取組みを進めていますが、私たち教育委員会もこども部の方たちと一緒に、さらに連携を深めて取組みを進めていかなくてはならないと思っております。

年が明けますと、６日から市内の中学校５校の生徒２０名を中心として、台湾高雄市への教育訪問団が派遣をされ、私も団長として参加をいたします。中学生の若い感性が発揮されて交流が深まることを願っています。年明けは一週間留守をしますが、よろしくお願いしたいと思います。

それでは、橋本委員が３分間スピーチです。よろしくお願いします。

橋本委員 「信頼について」３分間スピーチ。

教育長 ありがとうございました。次回は福島委員です。よろしくお願いします。

《会議録の承認》

教育長 令和元年度第7回の定例教育委員会の会議録につきましてはよろしいでしょうか。

全教育委員 結構です。

《署名員の指名》

教育長 本日の会議録署名委員は山田委員、橋本委員です。

《議案審議》

教育長 本日の案件は、議案が2件、報告6件、周知事項5件です。

＜議案第1号＞ 学校給食費について

学校給食課長 議案第1号「学校給食費について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。市川委員。

市川委員 県の中では平均値と大して変わらないですが、全国から見て高いのを、もう少し何とか近づけるとか、そのような研究はやっているわけでしょうか。

学校給食課長 長野県の給食は、先進的で、かなり古い時代からずっとやってきていまして、他市では中学校は給食を出していないとか、そういったところがまだたくさんある中で、栄養価の維持のためにはこの金額が最低の額なのかなと思っているところで、全国平均に近づける議論は全くしていません。

市川委員 安くてうまいというのとは少し違う考えですか。栄養価を最優先するところになってしまうということですか。

学校給食課長 そうですね。まずは栄養価の確保です。

教育長 橋本委員。

橋本委員 それに関連してですが、私はおそらく全国平均は意味が無いと思うのです。要するに、規模の経済が働いているかどうかで、金額は変わってくると思うのです。ですから、松本市の規模と同程度の規模のところと比較することのほうが重要ではないでしょうか。

学校給食課長 ありがとうございます。全国平均ですと、町村も入ってきますので、その部分の影響はかなり大きいのかなという気はします。実際に19市とはほぼ同じ金額になりますので。

市川委員 わかりました。

教育長 私の手元に平成29年度の徴収金の長野県の市町村の一覧があります。19市は多少のばらつきがあってもそんなに大きい変化は無いですが、町村は非常にばらつきがあります。極端な話で言えば、無償化のところもありますし、非常に高いところもあります。それは町村の施策によっても全然違います。市は大体似たり寄ったりです。

山田委員 山3校の給食費はこれとは違いますか。

学校給食課長 自校給食のところは、行事の都合や要件によって、給食日数が多いものから、その分単価にすると若干高くなっています。

教育長 他にございますか。

橋本委員 質問ですが、今回この価格が決まると3年間はそのままの価格でいくということですか。

学校給食課長 前回の運営委員会で、3年に一度見直したらどうかということで、ご意見をいただいていますので、3年間はこの金額にし、3年後にもう一度協議をする予定であります。

教育長 よほどのいろいろな状況の変化が無い限り、3年はこれでいくということをお認めいただくということですかね。

学校給食課長 はい。そうです。

教育長 今日、たまたま雑誌を読んでおまして、ユニセフの「世界子供白書2019」によりますと、子どもの身長と体重の比率で、身長に対して体重が重いと過体重と言うそうですが、その割合が日本は14.42%で先進国の中では最も低いという結果が出たそうです。過体重がもっと進むと肥満になりますが、世界では4,000万人くらいの子どもの過体重か肥満で、意外に貧困と過体重は関連があるというようなことが言われていて、結局、食生活が偏っていると過体重になることが多く、日本が先進国の中で一番いい結果が出ているのは、学校給食によるというようなことが紹介されていました。先ほど、学校給食はおいしいと言っている子たちが7割前後いるわけですね。今、家庭の食生活もなかなか厳しい状態であるというようなことも言われていて、栄養を取るという根幹が、学校給食の位置づけが始まったころの時代とまた別の意味で非常に意味が大きくなってきていて、ユニセフの報告からも学校給食の役割が大きい

ということを改めて感じました。

福島委員 裏面の2の学校給食の調査というのを紹介していただいたのですが、これは毎年やっているものなのか、この結果が保護者等に周知されているのか。それから、今、満足度は高いということですが、現在の学校給食に対しての課題やこの調査で問題点として挙がっていることが、もしあれば教えてください。

学校給食課長 調査自体は県が主催でやっております、そのデータを引用していますので、県ではもちろん公表はしていると思います。「児童生徒の食に関する実態調査」という名前で行われているものです。市としては、県のものを引用させていただいたという形になりますので、積極的に市のホームページでそれを公表する等そういったことまでは至っておりません。2つ目の質問ですが、課題については、今、全体の調査結果は私の手元に無いものですから、しっかり把握していません。申し訳ございません。

教育長 献立表も配られるので、できれば学校の給食だよりのようなところで、今のようないことが少し紹介されたらということですか、福島委員。

福島委員 松本市の調査を引用されているのかなと思ったので、お聞きしたのですが、給食では松本市は結構先進的だというお話でしたので、市の給食というものの特徴というか、いいところと、改善すべきところというのを、何らかの形で把握されているのかなと思って、お聞きしたのですが。

学校給食課長 保護者の皆さんに試食会というものを年に相当数やっております、そのデータはもちろんあります。その保護者のご意見ですと、出汁がしっかり効いていて汁物が本当においしいというようなこと、場合によっては、これ以上求めるものが無いというくらいうれしいご意見をいただいているのが、主でございます。若干、量について個人差があるとは認識しております、中学生は多いのではないかという意見と、逆に少ないのではないかという意見と、それぞれあるような状況でございますが、概ね肯定的に捉えていただいております。

教育長 橋本委員。

橋本委員 いいことばかり議論されていたのですが、要するに、学校給食の危険度ということを念頭に置かないといけないと思うのです。というのは、そこで一つでも食中毒なり何なり起こすと全部に広がるということで、会社でも議論される

のは、会社の社員食堂というのは全員が倒れてしまうということです。弁当だと危険分散されているわけですが、全員同じものを食べるわけですから、一気に病気にかかってしまいます。そういう意味で、最大の課題は、当然のことではありますが、常に食の安全をどうやって図っていくのかということでありますので、セキュリティ上の問題は最優先課題として引き続き厳格に対応していただきたいと思います。以上です。

学校給食課長 ありがとうございます。衛生管理基準は年々厳しさを増していまして、調理員の手洗いかからトイレに入るときにズボン脱ぐですとか、そういったところの徹底は全てしていますし、もし仮に、便が緩い調理員がいましたら、強制的に休むですとか、そういった対応はしているところでございます。一番意識を強く持たないといけない部分だと考えております。

教育長 例えば、宴会は長期休みの前の明日から給食がしばらく無いという日しかやらない、生ものは普段は食べないというような、食生活に至るまで非常に気を使っていたいて、食の安全を守っていただいているというのは、逆に私たちはもっと知らせないといけないかなと思います。給食センターに関わっている方々は、自分の生活も律しないと安全が確保できないということを、私も前にお聞きして、本当にご苦労いただいているのだなと改めて感じました。保育園も同じで、保育園は逆に自園で作っているので、余計にそういう面でのリスク管理はしていますね。

こども部長 徹底した管理をしています。

福島委員 高野課長にお伺いしたいのですが、学校の給食の時間は、特に小学校で、「いただきます」を言ってから、何分間ありますか。

学校指導課長 25分間ぐらいです。

福島委員 25分。ありがとうございます。

教育長 大体20分から25分。高学年は20分ぐらいです。

福島委員 ありがとうございます。

教育長 それでは、議案1号議案については承認することとします。

<議案第2号> 令和元年度松本市公民館活動推進功労者について

生涯学習課長兼中央公民館長 議案第2号「令和元年度松本市公民館活動推進功労者につい

て」説明

教育長 よろしいでしょうか。特にご発言が無いようですので、議案第2号については承認することとします。

<報告第1号> 令和元年松本市議会12月定例会の結果について

教育政策課長 報告第1号「令和元年松本市議会12月定例会の結果について」説明

教育長 それでは、ご質問、ご意見等ございましたら。橋本委員。

橋本委員 質問ですが、市有財産の取得について一部反対意見があったと記載されていますが、反対の理由はどういうことだったのですか。

教育政策課長 南・西外堀の二の丸町会の人たちを移転させて、そこに堀を復元していくという事業自体に反対だということから、一つの会派が当初から反対ということを表明しておりまして、この件については一貫して反対しているといった状況です。

教育長 よろしいですか。他に。市川委員。

市川委員 ここで聞いていいか分からないですが、今、足場を掛けて松本城を整備していますよね。来たお客様からせつかく写真を撮ろうと思ったのに足場が見えてしまっただけ残念だということをよく聞きます。今、足場がむき出しですが、観光のことを考えると、施工的に可能かどうかは分かりませんが、黒か何かで、ある程度目立たないようにやってはどうかと思っています。

松本城管理事務所城郭整備担当課長 おっしゃるとおりでございまして、例えば、毎年月見櫓の漆の塗り直しをやっているのですが、そのときも一応シートをかけて、なるべくブルーシートではなくて、調和した黒と白とか、そういったことは考えてはいます。現在、主に屋根を修理しているのですが、基本的にはお客さんがあまり来ない閑散期に合わせてやっています。シートについては、施工上支障があるかどうかは分かりませんが、いつからいつまでこういう工事をやるので足場が掛かりますということで、事前に一応周知はさせてもらっていますが、そういった配慮ができるかどうか検討させていただきます。

市川委員 周知はよく分かっています。ただ、来たお客さんたちが見たときに少しでもいい感じがいいのかなということを検討できるのかなと思ひまして。以上です。

教育長 幸いにも今回の場所は南側からは見えないので幸いだねということで、話は

していましたが、そういうところも配慮をという趣旨だと思います。

他にございますか。それでは、ご意見が無いようですので、報告第1号については承認することとします。

<報告第2号> 令和元年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について

教育政策課長 報告第2号「令和元年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について」説明

教育長 委員の皆様にも出ていただいていますので、いかがでしょうか。市川委員。

市川委員 この出た結果を次回に生かすというか、毎年2回ずつやっているのですが、今のこの時間でいいのかとか、町会の皆様たちの要望としてこの時間がいいのかとか、いろいろなものを踏まえた中で、おもしろいようなことができれば、もっと活発になると思います。

教育政策課長 なるべくその地区の実情とか課題とかに合わせてテーマ等を決めて、事前に調整はさせていただくのですが、公民館なりの取組み方というか、町会の課題の見方とかいろいろございまして、盛り上がる地区、盛り上がらない地区は、どうしても出てきてしまうのが現状です。時間等もこちらから投げかけて調整をしているのですが、こういった時間でということで、今のところはやっているということです。

市川委員 地元の人たちで誰か一人大きい声を出すような人がいると、そこで終わってしまうのですよね。質問も一人がしゃべり出すと止まらなくなってしまうとか、その辺が難しいとは思うのです。では、どうするかと言うと、浮かんでこないのですが。

教育政策課長 こちらからの投げかけは、昨年もスマホの関係等は話が盛り上がったということもあって、その辺については続けてやりたいということを地区に投げかけて、あと地区ごとの課題の2つに絞ってやりましょうということで投げかけています。なるべく保護者の方、子どもさんをお持ちのお父さん、お母さんたちに出てくださいというように投げかけてはいるのですが、なかなか出てこないというような状況もあるということでございます。

福島委員 この「地区の皆さんと語る会」というのは、裏面の5の(2)にあるように、教育委員会の取組みを市民に知ってもらおうということでやっていると思うので

すが、実際に地区によって話したい人たちというのがいて、その目的とそこがあまり合っていないようなときもあるのかなというのがあります。テーマについても、例えば、7ページで、4のアンケート集計結果の（1）のイについて、「参加する方からどんなテーマが良いか把握したらどうか。」とあるけれども、そういうふうに来てきているわけですね。やってきていて、まだこういう意見が出ることとか、8ページで、城北では全体の評価で「テーマごとに好みの方へという進め方」に不満があるというのが出ているのですが、何のためにやっているかという目的と、実際にやっている内容を、もう少しきちんと整理して、おそらく改善すべきところはたくさんあると思います。例えば、先ほど市川さんがおっしゃったのですが、「子育て世代を含め幅広い年齢層の方々に参加いただけるよう」と書いてあるのですが、私は教育委員だから行きますが、ご飯を食べたり、お風呂に入ったりしている時間なので、おそらく女性では夜あの時間に外には出られないと思うのです。ですから、本当に誰に来てもらいたいのかとか、例えば、テーマを決めてそれにどんな人に来てもらいたいのかということで時間を考えると、既成事実として外に出ていっていますというようなことを言うためのものとしてではなくて、もっと内容を伴うものとして、例えば、スマホの問題は非常におもしろいと思うので、本当にたくさんの人に聞いてもらいたいと思うのですが、あれを公民館でやるべきなのか、もっと保護者が聞きたい話なのに、本当に近い小中学生の保護者は出てこれないのでないかなと思うので、もう少し改善の余地はあるかなと思いました。

教育長

福島委員さんが教育委員になられたときからこのパターンでやっていますよね。もう7、8年になりますかね。前にも私のほうから、来ていただくというやり方は限界があるのかなと、出かけていくという形に変えてもいいのかなと。ただ、移動教育委員会はやるので、その後という時間設定になるから、どうしてもこの時間設定になってしまうということがあるので、セットにするということを見直すということも一つかなと思います。私が今結構気にしているのは、例えば、Mウイングの2階のスペースは非常に活用されていていつもいっぱいです。中央図書館も3階のところに大勢います。なんなんひろばやサポートセンターも結構若者がいます。何かそういう若者がいるところへ、私たちが、全員ではなくて、教育委員会対何とかというスタンスではなくて、例えば、今回

はどこへ教育委員さんが2人とか少人数で行って、そういうところへ短時間、1時間以内くらいで、時間のある人と、若者がSNSとかスマホも含めてどんなことを考えているかというような懇談をすとか、例えば、参観日に行って、もし時間がある方は、あと30分だけスマホについて見てみませんかとか、参観日が始まる前の時間でもいいので、都合のつく人は来て少し見てみませんかとか、そういうところに出かけていくという形にしたほうが、もっと多様な人たちと触れ合えると思います。でないと、前に中山でやったときも、糾弾集会のような、市政懇談会の要求型のような、市は何もやってくれないではないかというようなことを端から言われたりして、何のために来たのかというようなこともあったりしたので、全員で出かけて行って、何かお互いに向き合っていくというようなパターンも少し崩していてもいいのかなと思います。

市川委員 お互いに格好つけているような感じで、出てくるほうは町会長とか各地区長のような方ばかりです。ですから、今教育長が言われたように、フリースペースのようなところに行ったり、もう少し格好つけなくていいと思います。あそこへ行って、教育委員会をやらなければいけないというのはあるのですか。そこに来て傍聴してもいいということですが、ほとんど来ないですね。他に市民に知っていただくやり方というのはあるのかなと思います。

教育長 12年ぐらい前にサポートセンターで、例えば、不登校について、みんなで車座になって、夜7時ぐらいからいろいろな人が集まってみんなで話をしたり、あるときは、信濃むつみ高校に行って、むつみの先生やその生徒と車座になってみんなでいろいろ話をしたり、そういうことをやった時期がありました。今日結論を出すということではなくて、今言ったようなことも含めて、少し柔軟な持ち方を考えていきたいと思います。どうしても夜行くと、年配の方や、町会長さんや地区の役員の方たちが中心になってしまうので、私たちが一番声を聞いていない高校生からその上の若者の年代の人たちが、今何を考えて、どうしているのかとか、学校時代について今ならこんなことを要望すとか、仲間に引きこもっている子がいて困っているとか、何か生きづらさというようなこととか、若者たちから松本についてはこんなふうに思っているとか、松本のまちをこんなふうにできたらいいねとか、というようなことも含めて、若者たちからよく話が聞けたらと思います。ですから、あまり大勢で行く

と向こうも嫌がるので、何班かに分けていろいろなところでやってみるということも一案かなと思います。

橋本委員 目的が多過ぎませんか。先ほど福島さんが言ったのは論点をついていると思うのですが、教育委員会がこんなことをやっていますという宣伝する場であれば宣伝する場で特化したほうがいいし、吸い上げるのだったら吸い上げるので特化したほうがいいし、目的に応じてやり方は変わってくると思うのです。やりたいことはたくさんあるのだろうけれども、今回はアピールするほうだとか、吸い上げるほうだとか、目的と開催のやり方をもう少し明確に区分していったほうがいいのかという気はするのです。

山田委員 私も福島さんがおっしゃったことにもっともだと思うのですが、参加する方からどんなテーマがいいか把握したらどうかという意見があって、先ほど公民館に投げかけているというようなことをおっしゃっていたのですが、公民館にどんな投げかけをしているのか、私は2つとも文化財と地域づくりに参加して、このテーマがどこから出てきたのかなということがすごく疑問だったのです。公民館に投げかけて、公民館に来てくれる地域の人に聞いたらこういうテーマが出てくるのかなとも思うのですが、その辺のテーマの決め出し、公民館主体でテーマを決め出してくるのか、それとも、教育委員会でこういうテーマでということがあるのか、テーマを決めるのはどこなのか、そこが分からないと思いました。

橋本委員 そこが表題にあらわれているのです。「地区の皆さんと語る会」というのは、分かるようで分からないわけですね。こちらからも言いたいし、向こうからも聞きたいし、地区の皆さんと語ったという、単なるアリバイ作りでしかないかもしれないです。

教育政策課長 先ほども言ったのですが、教育委員会としては、去年から続いているので、今年に関しては引き続いてスマホに関しては一つテーマとしてやっていきたいという意思を持って、それを一つやりたいと地区に投げかけました。それと、地区では地区でのそれぞれ課題があるでしょうから、その課題について教育委員さんとお話したい内容を出してくださいということで投げかけをして、地区で決めていただいているというのが、今年度の決め方です。ですから、テーマをどうやって決めているか分からないというようなご意見もありますが、教

育委員会としては、公民館長さんをお願いをして地区で決めてもらっているというのが現状です。

市川委員 ここに書いてある教育委員会という身構えてしまうという、この辺ではないかなと思うのです。語る会では、身構えなくてもいいと思うのですが。

教育部長 以前は分科会をやらなくて、地元の要望みたいなものを全員で聞いて、それを教育委員会で答えていました。それを、そういったことではなくて、もっと論点を絞ってやろうということで、こういうお伺い形式になったと思うのです。いろいろ試行錯誤はしているということです。

教育長 いろいろなご意見をいただき、改善はしていますが、さらにまた検討が必要だということで集約をし、来年度については提案をしながら、また一緒に考えていくということで、よろしいでしょうか。

それでは、報告第2号については承認することとします。

<報告第3号> 宇宙関連事業講演会の開催結果について

教育文化センター課長補佐 報告第3号「宇宙関連事業講演会の開催結果について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございましたら。福島委員、どうぞ。

福島委員 3点あります。10ページの2の主な感想・意見のところ、3番目に性別覧にその他を入れてくださいというのがあるのですが、これは教育文化センターだけではなくて、さまざまな市等が行うアンケートではすでに全部変わっているのかなと思っていたのですが、性別を問わなくてはならないものについては、その他は絶対に入れるべきだと思うので、全ての課で統一してやっていただきたいと思います。

それから、アンケートの項目はここに載っているだけなのか、今回この講演会に参加するに至った経緯のようなものは聞いているのか、例えば、何を見てこれに参加したのかというのは聞いているのかということについて、まず教えてください。

教育文化センター課長補佐 申し訳ありません。アンケートの性別覧につきましては、今後対応していきたいと思います。どのような経緯で今回の講演会に参加されたかまでは聞いていなかったのですが、今後は確認をするようにしたいと思います。

福島委員 あと1点ですが、教育文化センターが行ういろいろな催し物の中で宇宙関連

に関しては毎回教育委員会で報告があるのですが、それ以外にも科学に関するものであるとか、プログラミングに関するものが行われていて、そういったものについては、教育委員会には出てこないのですが、宇宙に関しては教育委員会に出すというようなことになっているのか。というのは、宇宙関連のことに力を入れてやっていくというのは、承知していますが、この間プログラミングに子どもが参加をしまして、よかったのです。おそらく今年から始まったと思うのですが、中でやっている内容等が数年前にプログラミングが学校教育の中に入ってくるということで、民間のロボ団とかそういうプログラミング教室のようなものが物すごく松本にも来て、いろいろな人が行っていると思いますが、結構値段も高いので、こういった場所でプログラミングができるのであれば、参加したいという子どもたちや保護者はすごく多いと思うのです。おそらく教える人があまりいないので、そんなにたくさんできないかもしれないのですが、ニーズはあると思いますし、そういうのをどういう形でやっているというのを教育委員会の中でも、もし報告していただくことができれば、プログラミングだけではなくていろいろな企業とコラボでやっている科学教室のようなものも、すごく質の高いものがありますし、ぜひそういったものに対する参加者の意見等をどこかで集約して共有できたらもっといいのではないかと思います。先ほど参加に至る経緯等をお聞きしたのは、私はいつも子どもがもらってくる教育文化センターの何月から何月までの催し物が全部書いてあるチラシを毎回全部チェックするのですが、何を見て皆さんそこに来るのかなと。おそらく来ている人たちは結構いつも一緒のような気がするのです。すごくいいことをやっているのです、もっと幅広い人たちにも知ってもらいたいし、参加もしていただきたいと思います。ぜひお願いします。以上です。

教育長 親子科学教室とか工作とか、私も前に行きましたが、ドローンをやっていたり、熱気球のようなものをやっていたり、行ってみると、いろいろなおもしろいことをやっているのです、その状況について、前期、後期、年に2回ぐらいで報告をしていただける機会があったらお願いします。

毎月、広報まつもとにも載っていますよね。

教育文化センター課長補佐 このようなことをやりますというのは載せています。

教育長 教育文化センターはいずれ休館する時期があるので、休館するからやめます

ということではなくて、休館する時期も宇宙講演会や科学教室等は、Mウイングやあがたの森を使ったり、会場を移しても継続的にやりながら、新科学館へつないでいくようなことは、ぜひ、つなげていきたいと思います。

それでは、報告第3号については承認することとします。

<報告第4号> 松本市教育訪問団の台湾高雄市訪問事業について

学校指導課長 報告第4号「松本市教育訪問団の台湾高雄市訪問事業について」説明

教育長 よろしいでしょうか。それでは、報告第4号については承認することとします。

<報告第5号> 食物アレルギー講演会の開催結果について

学校給食課長 報告第5号「食物アレルギー講演会の開催結果について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

私も出席をしましたが、大勢の方に来ていただきました。そして、何より私が驚いたのが、前回も講演を聞きましたが、3年ぐらいでアレルギーに対する考え方が、物すごく変わっているのです。つまり、過去のアレルギーに対する医者自身もいかに対応が間違っていたかということが、次々にあらわになってきているということで、除去をしてきたために食べ始めるのが遅くなってしまったとか、アトピー性皮膚炎をきちんと治すということが大事だとか。私も帰ってきて、今年赤ちゃんが生まれた方に資料をコピーして差し上げました。この講演会だけではなくて、啓発するようなものを、給食だよりとか、簗島先生と相談して、概要版や縮刷版を幼稚園や保育園等に置くとか。学校へ上った段階では遅いですね。生後6か月ぐらいからきちんとやっていくと救える子たちがたくさんいるということが分かるので、資料もこども部にも差し上げて、本当にいい講演会だったので、健康福祉部も含めて、その成果がうまくつながっていくといいと思いました。

学校給食課長 保育課の栄養士さんにも参加いただいています。

山田委員 参加者の中の関係者というのは、例えば、保健の先生とか給食調理員さんとか、そういう関係の方ですか。

学校給食課長 調理員とあとは栄養士がほとんどです。

山田委員 保育園からというのはもっともだと思うのですが、学校に上がってきても、結局アレルギーがあるからといって、給食センターにすごくお世話になってアレルギー食を特別に作ってもらっていますよね。それが何か当たり前というか、だから食べちゃいけないと。中には少しくらい食べてもいいのではないかと思う子もシャットアウトということが多いので、アレルギーの子がクラスにいる先生等も聞いてくれるとよかったなという感想です。啓発のようなものがあるといいのかなと思いました。

学校給食課長 そうですね。本当に最初の正しい情報が大切だと思ひまして、解除ということ、私どもはやりたくて、外で食べるのを禁止せずに、何でも食べられるところを目指しているものですから、そういった正確な情報は広めたいと本当に思いました。

山田委員 学校は何事も無ければ安心というようなところがあるので、だめなものはあげないというか、それこそにおいもかがせないぐらい神経質になってしまうので、そういう情報があるとすごくいいかなと思います。

学校給食課長 保護者の方たちとは個別に全員と懇談をしているものですから、保護者の方にはそういった情報がいきますが、保護者の方を通じて、また学校にもいくような体制を組んでいきたいと思ひます。

教育長 本当にいい講演会だったと思ひますので、ぜひ、これからの取組みに生かしていけたらと思ひます。

それでは、報告第5号については承認することとします。

<報告第6号> まつもと子ども未来委員会による市長提言及び活動内容について

こども部長 報告第6号「まつもと子ども未来委員会による市長提言及び活動内容について」説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

立ち上げて5回目ということで、私も毎年出させてもらっているのですが、今まで4回は環境活動と松本のPRというようなことで取り組んできたのですが、大体毎年同じで、ごみ箱を置いてほしいとか、ポスターを作って張ればいいのか、なかなかその辺から脱却しなかったのですが、今年は新たに市役所新庁舎のこと、基幹博物館のこと、受動喫煙のことという、この新たな3つのテ

一マが加わったことによって、非常に子どもたちの視野が広がったなと思いました。基幹博物館でしたら千賀さん（博物館職員）が丁寧に説明してくれたり、それぞれ担当の人たちがきちんとそれについて説明してくれたりとか、一緒に考えるというスタンスで寄り添いながら取り組んでくれました。私にも何か総括的なことを話せということで、話をさせてもらったのですが、一皮むけたなというのが、私のトータルとしての印象です。中3の女の子で、未来委員会の子どもの中に第1回からずっといる子がいて、今その子がリーダーをやっているのですが、5年生のときからずっとやっている子たちはすごく育っているなと思います。本当にしっかりして、こういう子たちは高校の探究科のようなところに入って、そのまま市役所のまちづくりのようなところに将来的には関わってくれたらいいなという思いがして、確かにこういうところで子どもたちは育っているなということと、サポーターという存在も一緒になってやってきて、今年は新たな展開になって、本当に今までと少し違ったねというのが、私どもの中での感想でした。

部長、提言をいただいて、何か感想はありますか。

教育部長 基幹博物館建設事業の提言をいただいたのですが、子どもたちに積極的に学ぼうという意欲があることが、一番すばらしいです。やらされ感が無いということが一番ですね。そういった中の提言だと思いますから、今回一般質問でも基幹博物館の提言を引用させていただいて、答弁をさせていただいたということです。

教育長 おそらく一般質問の答弁の中で、子ども未来委員会のことを引用した答弁は、今回初めてだと思います。

山田委員 教文センターへの提言等は無いですか。

教育長 教文センターは高校生等のワークショップをやりました。

教育長 それでは、報告第6号については承認することとします。

<周知事項1> 令和2年松本市成人式の開催について

生涯学習課長兼中央公民館長 周知事項1「令和2年松本市成人式の開催について」説明

教育長 委員の皆様のご出席もよろしくお願いいたします。

＜周知事項２＞ 未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会令和元年度地域づくり市民活動研究集会～の開催について

生涯学習課長兼中央公民館長 周知事項２「未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会令和元年度地域づくり市民活動研究集会～の開催について」説明

＜周知事項３＞ 発掘された松本２０１９－松本市遺跡発掘報告会－の開催について

文化財課長 周知事項３「発掘された松本２０１９－松本市遺跡発掘報告会－の開催について」説明

＜周知事項４＞ ラウル・デュフィ展の開催について

美術館副館長 周知事項４「ラウル・デュフィ展の開催について」説明

＜周知事項５＞ 松本市美術館館長アートレクチャーの開催について

美術館副館長 周知事項５「松本市美術館館長アートレクチャーの開催について」説明

教育長 それでは、以上で予定された案件は終了しました。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、令和元年度第９回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

＜午後４時５３分閉会＞

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

三村 恵美

会 議 録 署 名 委 員

山田 幸江

橋本 要人
